



Handa Byouin Dayori 

半田病院だより



〈広報部会〉

私たちが半田病院だよりを作成しています。

広報部会は、看護師やコメディカル、事務職など、さまざまな職種から構成しています。

半田市立半田病院 広報部会

タスクシフト への取り組み

タスクシフトとは？

タスクシフトとは、医師の働き方改革の一貫として医師の業務を他職種に割り振ること。

薬剤科 薬剤師 新美 雅規

薬剤科では医師のタスクシフトに積極的に取り組んでいます。

1. 薬剤選定と処方箋チェック

医師が処方箋を書いた場合、患者に適切な薬剤を提供するために、薬剤選定と処方箋チェックをしています。誤薬や薬剤の相互作用を防止し、患者の安全性を確保することができます。

2. 処方支援

医師が処方箋を書いた後に、事前に取り決めたルールに従って薬剤、用量、服用方法・検査オーダーなどを検討しています。問題がある場合は、適切な薬剤や用量に変更を提案・代行入力しています。より安全で正確な処方を実現するために欠かせない取り組みです。

3. 薬剤調製

点滴栄養剤・抗がん剤の無菌調整をしています。薬剤師が代行することで、医師が診療に専念することができ、清潔で効率的な医療の提供を可能にします。

4. 薬剤指導

注射薬や吸入薬の使い方、医療用麻薬の説明など薬剤師は、患者に薬剤の効果や副作用、適正使用方法などについて指導しています。薬剤指導を行うことで、患者が薬剤を正しく使用することができ、治療効果を最大限に引き出すことができます。

リハビリテーション技術科 言語聴覚士 青木 淳

リハビリテーション技術科では発熱電話相談対応や救急外来の患者搬送サポートを行っています。元来は医師、看護師が行っていましたが、新型コロナウイルス関連による業務負担軽減目的に、リハビリスタッフや管理栄養士、臨床工学技士、歯科衛生士、視能訓練士など他職種が参加するようになりました。これにより医師、看護師の業務量増加が軽減できるほか、検査や診療、入院手続きなどのスムーズさを保つことができ、患者さんの待ち時間増加予防にも繋がっています。

放射線技術科 診療放射線技師 徳留 晃

放射線技術科では医師、看護師のタスクシフトに積極的に取り組んでいます。元々循環器内科医が担っていたカテーテル補助業務を、医師と同等の臨床知識をもった診療放射線技師が担っており、医師が緊急検査等に迅速対応をできる環境を作っています。

また、診療放射線技師法の改正により、放射線技師が造影剤やRI製剤注入用の静脈ルートの確保ができるようになりました。厚生労働省が定めた研修会に参加し、院内の教育カリキュラムを修了した技師が新たな業務に従事しています。この法改正により看護師の業務が軽減されるほか、CTやMRI、RI検査で造影剤やRI製剤を使用する際に診療放射線技師だけで検査を完了できるため、検査時間、検査待ち時間の短縮が可能となりました。





臨床検査技術科 臨床検査技師 黒田 美智子

まず、皆さんは臨床検査技師という職種をご存じでしょうか？半田病院では2階にある検体検査室と生理検査室で様々な検査を行っています。また、中央採血室での採血や管理・運用も看護師ではなく臨床検査技師が担当しているため、皆さんとも一度はお会いしているのではないのでしょうか。

私たちはその名の通り、患者さんから採取された血液など様々な検体の検査結果を医師に報告する職種になります。昔は医師が患者さんの検査・診断・治療のすべてを行っていましたが、医学の進歩に伴い検査・治療の方法も増え、医師の業務をスムーズに行うために独立したのが臨床検査技師です。これもある意味タスクシフトといえるかもしれません。

これまでもその時代ごとに業務内容は拡大してきました。医師に代わり超音波検査を実施し、そのデータや所見をもとに診察が行われています。また、細胞検査士という新たな認定資格を取得し、患者さんから採取された細胞の標本作成から良悪性の判断まで行うなど、専門性の高い業務も任されてきました。その一方で、患者さんの病気に向き合うべく院内の教室活動の計画や患者さんへの指導など検査室以外の場面にも多方面に参画しています。今回の法改正に伴っては、また直接患者さんと接する機会が増えることとなりました。糖尿病患者さんの自己血糖測定に関して、取り付けや説明を今まで外来看護師と分散していたのを臨床検査技師へと移行しています。これにより外来での業務軽減だけでなく、一連の流れを一箇所にすることで患者さんに合わせた指導を行えるという利点があります。また患者さんにとっても一箇所で済むため移動や待ち時間が少なくなるという3つの効果が期待されています。一つ一つ小さな積み重ねになりますが、今後も病院のため、患者さんのためによりよい医療を提供できるよう努力していきたいと思えます。

臨床工学室 臨床工学技士 村瀬 進祐

臨床工学室では医師、看護師のタスクシフトに積極的に取り組んでいます。血液浄化における穿刺や止血を看護師の代わりに、最近では内視鏡検査の補助、カメラの保守管理を行っています。

また、臨床工学技士は2021年の法改正により特定の条件下において、以下の業務を行うことが可能になりました。

- ・血液浄化における表在化させた動脈への穿刺、抜針
- ・手術室、集中治療室で輸液ポンプやシリンジポンプに接続するための静脈の確保、薬剤投与の操作、抜針
- ・心臓や血管のカテーテル治療における電氣的刺激を送るための装置の操作
- ・内視鏡手術におけるカメラの保持や視野確保のための操作

現在、これらの業務を行うために厚生労働大臣指定の研修を受けて、業務のすり合わせや確立を行い、さらなるタスクシフトに向けた準備を進めているところです。



新任医師紹介

本年度から当院で働く医師を紹介します！



呼吸器内科 後藤 希

4月より呼吸器内科に赴任しました後藤と申します。地域医療に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



脳神経内科 前川 朋也

4月より脳神経内科に赴任しました前川朋也と申します。知多半島医療に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



小児科 五藤 明德

4月より小児科に赴任となりました。お子さん、親御さんともに安心できるような医療を目指し頑張ります。よろしくお願い致します。



脳神経外科 上野 匡裕

4月より脳神経外科に赴任となりました。知多半島地域の医療に貢献できるように精一杯尽力させていただきます。よろしくお願い致します。



耳鼻いんこう科 高津 優斗

4月より耳鼻いんこう科に赴任となりました。出身である阿久比町の近くでの勤務ということもあり、今までの感謝の気持ちを込め少しでも医療貢献できるように励みます。



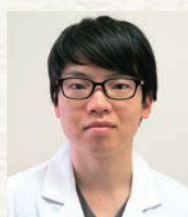
整形外科 井戸田 健

4月より整形外科に赴任となりました、井戸田 健です。地域の皆様の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



消化器内科 加古 雄基

同じ知多半島の公立西知多総合病院より2023年4月から消化器内科に赴任となりました。精一杯働かせていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。



糖尿病・内分泌内科 一色 遼平

4月より糖尿病・内分泌内科に赴任して参りました。駆け出しの身ではありますが、患者さんと相談しつつ最適な治療を提案させていただきますのでよろしくお願い致します。



循環器内科 和田 裕太郎

4月より循環器内科に赴任しました和田裕太郎と申します。地域医療に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



外科 伊達 俊輔

4月より赴任して参りました、外科 伊達俊輔です。知多半島の地域医療に貢献できるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



脳神経外科 家永 惇平

4月より脳神経外科に赴任となりました。地域の皆様の健康を守るように精一杯努力いたします。よろしくお願い致します。



産婦人科 佐野 友里子

4月より産婦人科に赴任となりました。女性の健康をサポートし、知多半島の医療に貢献できるよう頑張ります。



麻酔科 川口 朱莉

4月より麻酔科に赴任となりました。知多半島の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



外科 秋葉 嘉将

4月より外科に赴任となりました、秋葉嘉将です。バスケで鍛えたフットワークを武器に地域医療に貢献したいと思います。よろしくお願い致します。

新 研修医・看護師紹介



研修医紹介

4月から半田病院に8人の研修医が仲間入りをしました！
ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、市民の皆さんのため精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

看護師紹介

4月から半田病院に就職した新人看護師22名です。まだまだ不安でいっぱいですが、様々な経験を積んで、なりたい自分に近づいていきたいと思います。患者さん一人一人に寄り添い、信頼される看護師を目指して頑張りますので、皆さんよろしくお願いいたします。



半田病院は臨床研修指定病院です

臨床研修指定病院とは、研修医が卒後2年間、基本的な手技、知識を身につけるため籍を置く、つまり経験を積む、腕を磨く場を提供する病院です。当院も国から臨床研修指定病院として認定を受け、次世代の医師を育成する役割を担っております。現在、当院には16名の研修医が在籍しており、一人前の医師になるため、そして地域の皆様が安心して受診できる医師となるため、日々研修に励んでいます。研修医のみでなく、新人看護職員も1年間の教育プログラムに沿った教育を受けています。研修医同様に、安全・安心な看護を提供するため日々切磋琢磨して学んでいます。

また、地域社会に貢献できる医療人を育成するため、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、理学・作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、栄養士など、さまざまな医療職を目指す学生の臨地実習を受け入れております。これからの地域医療を担う若い世代の研修の機会として、救命救急センターや外来・病棟などにおいてかかわらせていただくことがあります。ご理解・ご協力をお願いいたします。



新型コロナウイルスの感染力は変わらない!!

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法2類から5類へと変更となりました。感染力は低下していないことから、新型コロナウイルス感染症は終息していません。

免疫力が低下した患者さんや妊婦さんが集まる病院では、これからも新型コロナウイルス感染対策は必須です。病院は引き続き、皆様のご理解とご協力を必要としています。

病院内はマスクの着用を継続しています

新型コロナウイルス感染症は、自覚症状が出る発症2日前から周りの人を感染させる力があります。このことは、感染者は無症状でウイルスを吐き出していることを意味します。マスクの着用は個人の自由となりましたが、マスクを着用することで、周りの人を感染させるリスクを大幅に抑えることが分かっています。症状の有無に関わらず、病院内は必ずマスク着用をお願いします。

新型コロナウイルス感染症になってしまったら？

厚生労働省は、「発症後5日を経過するまでは自宅療養を推奨」としています。しかし、感染力が低下していません。新型コロナウイルス感染症以外の急を要しない受診は、症状が出現して5日以上かつ症状が軽減して24時間以上経過してからご来院ください。受診については、かかりつけ医にご相談ください。

濃厚接触者はどうなるの？

5月8日から濃厚接触者の定義はなくなりましたが、感染力は変わりません。よって感染者と接触した場合、今までと同様に感染する可能性があります。

感染者と接触した最終日から、少なくとも5日間は感染対策(マスク着用、手指衛生)を実施することをお勧めします。

新型コロナウイルス感染症以外の急を要しない受診は5日以上経過してからご来院ください。受診については、かかりつけ医にご相談ください。

+ 病院だより+ 新病院コラム その 13



新病院JV

昨年7月に新病院建設地の造成工事を開始してから1年。工事が始まるまでは6~7段の田んぼや畑だった場所が今では3段の敷地へと変貌し、その中では5台の大きなクローラークレーンと呼ばれる移動式クレーンが、鉄筋などの材料の揚重や荷振りなどに活躍しています。

このクローラークレーン、クローラー(キャタピラ)がついた台車の上にクレーン装置が付いたもので、大きいものはブームの長さが100mを越えるものもあります。工事現場が標高50mぐらいの場所にあることもあって、その先端は碧南市のほうからも見ることができます。

これらのクローラークレーンの活躍もあって、建設工事も順調に進み、6月下旬の段階では主に建物の基礎工事と免震装置の据付け工事を行っています。

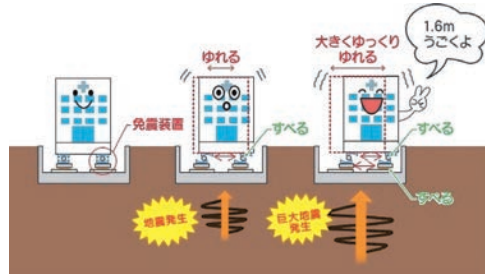
この免震装置、実は、南海トラフ巨大地震が発生した場合も新半田病院の機能を維持するために新しく開発したのなんです。

「球面すべり支承」と呼ばれる免震装置と「活動すべり支承」と呼ばれる免震装置とを上下に組み合わせた3つのすべり面を持つ仕組みで、1.6mの可動域を実現しました。この1.6mという可動域は世界最大クラスのもので、国内最大のもんです。

そのため本工事は、国内の建設関係者からもとても注目されています。

工事の進捗状況は、新半田病院JVのホームページ(右上のQRコード)でもご覧いただけますのでぜひご覧ください。

通行車両の増加や振動、騒音、交通規制等大変ご迷惑をおかけいたしますが、細心の注意を払って事業を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



半田市立半田病院 広報部会 (事務局 管理課)

〒475-8599 愛知県半田市東洋町2丁目29番地 TEL 0569-22-9881 FAX 0569-24-3253
Eメール byouin@city.handa.lg.jp URL <https://www.handa-hosp.jp>



ホームページ



YouTube